

緊急開催



札幌商工会議所 11部会連合 緊急フォーラム

日本における北海道の役割

～北海道総合開発の枠組み堅持と北海道局の存続～

とき

平成22年 8月5日(木) 16:00

ところ

さっぽろ芸術文化の館・ニトリ文化ホール

主催 札幌商工会議所

札幌商工会議所 11部会連合 緊急フォーラム

日本における北海道の役割

～北海道総合開発の枠組み堅持と北海道局の存続～

< 次 第 >

1.開 会

2.主催者挨拶 札幌商工会議所 会 頭 高向 巖

3.来賓紹介

民主党北海道総支部連合会	幹 事 長	佐野 法充 様
自由民主党北海道支部連合会	会長代行	神戸 典臣 様
北海道副知事		高井 修 様
札幌市長		上田 文雄 様
北海道議会自由民主党・道民会議	議員会長	見延 順章 様
札幌市議会民主党・市民連合議員会	会 長	猪熊 輝夫 様
札幌市議会自由民主党議員会	会 長	鈴木 健雄 様

4.業界からの 意見・要望

(1)食品業界	札幌商工会議所	食品関連部会長	池田 光司
(2)観光業界	〃	観光部会長	廣川 雄一
(3)運送業界	〃	運輸・自動車部会長	加藤 欽也
(4)製造業界	〃	産業資材部会長	武田 治
(5)建設業界	〃	総合建設関連部会長	坂 敏弘

5.意見発表

北海道大学名誉教授 小林 好宏 様

6.来賓挨拶

民主党北海道総支部連合会	幹 事 長	佐野 法充 様
自由民主党北海道支部連合会	会長代行	神戸 典臣 様
北海道副知事		高井 修 様
札幌市長		上田 文雄 様

7.大会決議・ 要望

札幌商工会議所 生活関連商業部会長 勝木 紀昭

8.閉 会

決 議 (案)

北海道総合開発の枠組み堅持と北海道局の存続について

北海道は明治の開拓使設置以降、国の特別政策による計画的な開発が推進され、昭和25年の北海道開発法制定後も戦後復興に向けた食糧、資源の供給地として国民生活や産業発展に多大なる貢献を果たして参りました。

一方、開発の歴史が浅く、積雪寒冷地で広大な面積を有する広域分散型社会の現実を踏まえ、北海道開発を総合的且つ着実に推進するため、公共事業予算の一括計上権や北海道特例等の開発体制が整備されて参りました。

今般、国土交通省の組織見直しに伴い、北海道局を廃止するということが取り沙汰されており、こうした動きは、未だ充分とは言えない道路や港湾、北海道ならではの積雪や治水、災害対策等の社会基盤・産業基盤の整備・充実の必要性を考えた場合、到底容認できるものではありません。

北海道は豊かな自然、高い食糧供給力、多様なエネルギー資源等の優位性を活かし、我が国の課題解決への貢献が大きく期待されていると共に、本年6月に閣議決定された「新成長戦略」の推進に向け、農林水産分野、観光分野、グリーンイノベーション、ライフイノベーション等の分野で果たす役割は大きく、こうした取り組みを推進することは、北海道開発という観点のみならず、我が国の継続的な成長のためには決して欠くことのできないものであります。

これらのことから、現在進められている国土交通省における組織の見直しについて、我々は本大会において次の通り決議・要望致します。

記

- 1. 我が国の総合的な開発の見地に立ち、開発予算の一括計上や北海道特例といった北海道開発の枠組みを堅持すると共に、その役割を果たす組織である北海道局を存続させること。**
- 2. 「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」に基づく社会基盤整備を引き続き強力に推し進めること。**

以上決議する。

平成22年8月5日

札幌商工会議所11部会連合緊急フォーラム

北海道開発庁（現国土交通省北海道局）の存在意義と役割（要旨）

北海道大学名誉教授 小林好宏 氏

- ① 北海道は国による開発という体制を一貫してとってきた。これをどう評価するか。
 - ② 北海道開発庁という独立した官庁はすでになくなり、国土交通省の一部局になっているが「すでに役割は縮小しているのではないか」という疑問に対してどう応えるか。
 - ③ 「北海道開発の目的は、その時々々の国の課題に応えることである」とされているが、現在でもその目的は生きているのか。
- 以上に加えて、次の点について述べたい。
- ④ 日本は公共投資が過大であり、産業構造の上でも建設業が多すぎると言われてきた。それはそのとおりか。
 - ⑤ 「開発」と「国土政策」とは密接に結びついているが、国土政策はどうなっているのか。

① について

北海道開発が戦後の復興期に極めて重要な役割を果たしたことは周知のとおりであるが、それ以後も各期の開発計画に示された目的を遂行してきた。しかし、今や終戦直後に匹敵する北海道開発に期待される役割がある。それは、3で述べる。だが、最も大事なことは、我が国の20%を占める国土の維持管理と発展を担ってきたことであり、その役割は一貫して変わらない。

② について

省庁再編で北海道開発庁はなくなり「道局」となったが、3で述べるように北海道開発が日本全国に果たす役割は依然として大きなものがあり、北海道開発を進める上で重要な政策ツールである予算の一括計上権と北海道特例は、従来通り継続している。

③ について

北海道開発が日本全国に対して果たす役割について、私は基本的に二つあると考えている。一つはこれからの日本社会にとっての望ましい姿を示す先導的役割、もう一つは日本国の弱点を補う役割である。これからの日本は、19世紀、20世紀を特徴づけた工業化社会の次の段階に入る。その望ましい姿を描くとすれば、おおよそ次のような条件を満たすものである。ある程度、産業集積があり、大都市があり、国際空港、国際港湾と言いつける重要港湾があり、自然環境に恵まれている、その条件をすべて満たしているのは、札幌を中心とした圏域である。札幌圏を全国のモデルとするのも一つの役割である。札幌圏以外に期待されるのは日本の弱点を補う役割であるが、その役割を果たすにはこれまで以上の政策的バックアップが必要である。

④ について

過去30年位の間には公共事業が大幅に増えた時期が3度程あった。第一次石油危機の後の不況からの回復時、プラザ合意後の日米構造協議と内需拡大策、小渕内閣の時の緊急経済対策、いずれも根拠のあることであり、それなくしては日本経済の安定はありえなかったことを認識すべきである。

⑤ について

我が国の将来を考えると、東海道メガロポリスだけで我が国の国土全体の発展を支えることは不可能であり、他の軸が必要である。国土の20%にわずか4%の人口しか住んでいないことが問題であり、それどころか、ますます減っていくことが危惧される。これを何とかしようという人々が、霞が関に居ることが大事なのである。

札幌商工会議所 11部会連合 緊急フォーラム

日本における北海道の役割

～北海道総合開発の枠組み堅持と北海道局の存続～

実行役員名簿

(順不同・敬称略)

札幌商工会議所	会 頭	高向 巖
〃	副会頭	青木 雅典
〃	副会頭	滝沢 靖六
〃	副会頭	星野 恭亮
〃	副会頭	岩田 圭剛
〃	副会頭	安斎 允
〃	副会頭	明道 進
〃	名誉会頭	伊藤 義郎
〃	専務理事	向井 慎一
〃	総合建設関連部会長	坂 敏弘
〃	住宅・不動産部会長	瀬尾 索夫
〃	設備工事部会長	池田 薫
〃	食品関連部会長	池田 光司
〃	情報・メディア部会長	藤崎 昌甫
〃	運輸・自動車部会長	加藤 欽也
〃	産業資材部会長	武田 治
〃	生活関連商業部会長	勝木 紀昭
〃	サービス部会長	秋庭 一富
〃	金融・保険部会長	吉本 淳一
〃	観光部会長	廣川 雄一